群れ（1978）

SURU

メディア 映画
ジャンル
製作国 トルコ
色彩 Color
時間 122分
初公開日 1986/11/29
公開情報 岩波ホール

【解説】

「路」「敵」と同じく、トルコのＹ・ギュネイが、反体制活動を理由に投獄されながら、牢内から指示を送って完成させた、奇跡的な作品である。そうまでして映画を作ろうという彼らの姿勢は、如実に作品の内容に反映されている。東トルコのステップ地帯で牧畜業を営むハモ家の総領シバンは家族の反対を押し切って、不仲なハリラン家の娘を妻とする。病弱で子供も産めないため、妻に対する風当たりは厳しい。ある日、シバンは父と羊３７０頭を首都アンカラで売ろうと、医者にみせる為妻も同行させ、列車に乗り込む。が、貨車にはＤＤＴが残留しており、それを吸って幾頭かの羊が死んだ。そこへ山賊の襲撃である。また幾頭かが盗まれた。結局、着いても、その分を差っ引いた手当てしか父は払ってくれない。そして、長旅の苦労が祟ったか、妻は医者のもとへ連れた途端、息を引き取ってしまう。絶望にくれるシバンの涙…。そこには父への、因襲へのぶつけようのない怒りがこもっている。トルコというイスラム戒律の下、ただでさえ厳しい家長制が敷かれ人々の自由を損なっている国を更に牛耳る当時の独裁体制。これに苦しめられ続けた“政治犯”の大スター俳優ギュネイ。実に大きな人物である。

【クレジット】

監督	ゼキ・ウクテン	
製作総指揮	ユルマズ・ギュネイ	Yilmaz Guney
脚本	ユルマズ・ギュネイ	Yilmaz Guney
撮影	イズセット・アカイ	
音楽	ズルフュ・リヴァネリ	
出演	メルケ・デミルアー	
	タルク・アカン	Tarik Akan
	トゥンジェル・クルティズ	Tuncel Kurtiz

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.